

## トヨタ車のリコール：米国版

クリントンは、歴史に残る汚い大統領で、単なる色情狂に過ぎないが、在任中米国ではあまり悪評ではなかった。経済が好況だったからである。(経済状態の好不況に国民は敏感である。正義感だけでは飯の種にならないからである。)この好景気のひとつの原因に、「日本の企業」に難癖をつけ、多額の賠償金(たとえば千億円超など米国での当該会社の利益の大半を吐き出させる)を払わせて、同時に日本バッシングによってアメリカ人の妬ましがる卑しい心根を少し解消した面もある。

えらそうにトヨタ社長を公聴会に呼びつけた議員の過去には車ドロの前歴もあるらしい。ではなぜ、豊田社長はその義務もないのに公聴会に出席したか。たとえばケンタッキー工場などでは、リコールのために事実上操業中止になっていることもあり、従業員の激励のためもある。会社の姿勢を示しに行ったのだが、米国人に理解できたかどうか。

それはともかく、リコールと言った途端に、400もの訴訟が発生し、中には大根役者のようなのをTV放映し、涙を流させて恥を知れ、とか言わせる。日本のマスメディアは考えもなしに垂れ流す。Shame on you! (恥を知れ!) とはおまえたちのことである。

小生個人は自動車を運転しないから、アクセルがどうのブレーキがどうの、といった話はじつはよくわからない。ただし、ある人が鼻で嗤ったあとで語ったことであるが、「ブレーキの話のときには笑ってしまった。機械のことだから、それぞれの癖もあるし、当初はその車の特徴や性格を把握するまで慎重に運転するものです。いきなりぶっ飛ばしたらそら事故も起こりますワ」これはアクセルの問題でもそうではないのだろうか。

・・・それはともかくいくつかの怒りの理由がある。日本の三菱自動車(トヨタ)のとき、セクハラ問題でここでさえ表現を憚られる言葉が新聞紙上に躍っていて、挙句の果てには不買運動までして多額の賠

償金をせしめたが、のちにこの女性が前もってあることないこと（ないことないこと）を訴えるように買収されていたことが一流紙にスッパ抜かれた。（詳しくは原著（後述）をお読み下さい。女性の人権は日本にはないのだ、など新聞は嘘ばかり書いてある。）日本の新聞はまったくの無能で、なんのために特派員を大量に派遣しているのかわからない。Made in Hongkong とあるのに、香港が返還前にばたばたしていたので 30 分くらいの距離にある深圳で作成していたら、「産地偽装」と「言いがかり」をつけ賠償金。フロッピーディスクドライブを使うと故障するかもしれないとありもしない難癖をつけ損害賠償させる。実際には被害は全くなかったのにである。・・・これらはすべてクリントンの時代である。日本人はクリントンのような卑しい発想とは違うのだ。

（上述の賠償金云々の項については、高山正之氏の著書「世界は腹黒い」や「アメリカはどれほどひどい国か」など一連の著書から引用したが、誤りがあれば引用者のほうである。）

このとき外務省は何をしたか？ ・ ・ 何もしてくれない。助けてくれたわけでもない。都合の悪いことは、「民間のことは民間で・・・」。数年前だったかに「外務省不要論」が騒ぎになったが、そのときの内容と同じで「日本人の、日本人のための」外務省ではないのである。マスメディアも同罪だ。今度のトヨタにもマスメディアは登場せず、淡々と公聴会の流れを追っかけているだけである。こいつらも無能や！ 外務省とマスコミの特派員の撤廃に大賛成！

外国で事故や災害があったとき、日本人はふくまれていない模様です、というのだけが外務省の仕事ではないはずである。

ここで小生の意見は、なぜ、米国などにしがみついていなければいけないの？ 「豊田社長！ アメリカがゴチャゴチャ言うなら、十分調査して本当にトヨタ車によるものなら、払うべき賠償金を払い、然る後に米国トヨタのすべての工場を米国から撤退させる！」と言われたらいかがだろう。ボクは 24 日段階で失業するのは多分数万程度だろうと思っていたのであるが、

25日のニュースで20万に及ぶと聞いた。箕面市より巨大ではないか。トヨタが日本にもどってくれるだけで、現在の就職氷河期といわれている若い日本人の多くが救われるのではないか。するとアメリカ人の従業員は当然解雇されるし再就職もままならない。それは、アメリカ社会と経済の問題でわれわれの知ったことではない！Obamaにそれが解決できるか？

まだある。トヨタが棄米すれば、他の三菱やいままで被害にあった会社も賛同するかも知れず、失業者は100万単位になるかもしれない。Obama政権は崩壊するかもしれない。(・・・ただし、棄米の是非については、全く考えていない人間の意見であり、また、実際に撤退するかどうかは次元の違う話である。**単なる脅し**でもいいじゃないですか。)・・・(在米日本人でトヨタに勤務している人々も多い。彼らも失職してしまうが、ここでは私情を全くはさんでいない。)

それは仕方がないだろう、ごくわずかな瑕疵をとらえては言いがかり因縁をつけ、弁護士など自分の懐を暖めようとした、つまり私利私欲からの話だから、自国の問題は自国で解決してくれたらいい。

もともと米国は侵略者であり、白人以外の民族を騙して発展してきた。(かれらは人間とは思っていないだろうけど)インディアン(おためごかしにネイティブ・アメリカンなどと臆面もなくすりかえて表現しているが、直訳すれば原住民あるいは土人じゃないか!)を騙し閉じ込めた。黒人にしても建国以前から奴隷として売買し、何百年もこきつかってきたのではないか。そして今でも差別意識だけは根強く残している。ジェファソンなど独立宣言を書いた本人が、奴隷を売買しながら「人類は平等である」などと噴飯モノでさえある。リンカーンでさえ奴隷制度廃止は、南軍に対するスローガンに過ぎなかったのかも知れない。つまり、かれらの論理は、「**白人の論理**」なのである。メキシコを騙して領土の半分を取り上げるわ、でっち上げなどお手の物。要するに他民族を騙す・脅すことによって建国した国である。

世界には、情報操作と虚偽と無節操さ、いかに他人を出し抜くかをつねに考えている人々から成り立っている国もあるらしい。最近経験したのでは、ある「高名な免税店」。女の子が鎖が十八金の宝石を買った。ところが鎖は十八金ではなかった。そこで送りかえして交換を迫ると、返送されてきたのは十八金の鎖だが、宝石が全く異なった物に変えられていた。たまたま写真に撮っておいたのと、第三者が現認していたことから、再度、強硬な態度で交換を要求したところ、当の免税店も諦めてしぶしぶ「本物の宝石」を送ってきて、この品物で我慢するか、返金に応じるか、の二社択一をせまってきたという。盗人猛々しいとはこのことを言う。 2010. 02. 28.

どうでもいいや、あるいは言っても仕方がないか言うほどの甲斐も価値もないやと泣き寝入りしてもいいときと、そうでないときがある。ボクは、基本の姿勢として自分の仕事に関しては、「決して泣き寝入りするべきではない！」と信じている。・・・たとえば、小生が関与したケースがそうである。大人しい女性で、不整脈があったため、その道では超一流で通っている大病院に紹介したことがある。

(その道以外では、レベルが低く、信用していなかったのだが。)

実は当院開設後間もない頃で、前任の先生が何度も利用されたことがあることと、患者本人の希望もあって紹介したのであるが、当日救急で診てくれた若い医師は丁寧に患者さんに説明してくれたのであるが、念の為翌日の外来に来て下さい、というから行った。ところが、医者擬きが何が気に入らないのか、単に機嫌が悪かったのか、朝不快なことでもあったのか、余計なことを詮索し、なぜか患者が怒るようなことばかり言うし、・・・で小生のところに来て訴えるから「決して泣き寝入りすることはない、というよりもしてはいけない。総長なり院長なりに手紙を書いてその経緯を詳細に書いて問題にしたらいい。」今日も来いと言ったのはそちらの方ではないか。で、メールを送ったら、丁重な謝罪がありましたと言う。・・・当たり前じゃないですか。 2006. 02. 26.